

平成 15 年度細菌検査報告

細菌科

当科で実施した食品の細菌検査の件数を表 1 に示す。
 県内一般食品業者からの委託に加えて、FAZ に関係した冷凍食品等の検査及び 1 月以降対 EU 輸出水産食品

の残留動物医薬品等のモニタリング検査を実施した。

次に、臨床材料由来の細菌検査を表 2 に示した。

委託検査は感染症発生動向調査事業に伴う糞便・咽頭ぬぐい液等の分離同定検査に加えて、医療機関からのペロ毒素産生試験を実施した。また、行政検査では腸管出血性大腸菌 O157 の集団発生及びウェルシュ菌による食中毒発生時の確認検査等を実施した。

表 1 食品等の細菌検査件数

検体数	一般細菌数	大腸菌群 (含E.coli)	黄色ブドウ球菌	サルモネラ	カンピロバクター	腸炎ビブリオ	病原大腸菌 O157	残留動物用医薬品	その他	
魚介類とその加工品	21	10	10	2		8	1	28	リステリア 2 セレウス 1	
食肉とその加工品	8	8	8	8	8					
乳とその加工品	21	21	21	6			6			
野菜とその加工品	2	2	2							
穀類とその加工品	3		1	3	1		1			
卵とその加工品	1	1		1						
冷凍食品	27	24	27			10				
複合調理食品	8	8	8	6						
菓子類	4	4	4	4						
その他	1	1	1	1						
計	96	79	82	24	16	8	18	8	28	3

表 2 平成 15 年度月別細菌検査件数（臨床材料由来）

検査項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
赤痢菌	18	16	14	17	12	12	15	14	12	15	17	38	200
チフス菌	18	16	14	17	12	12	15	14	12	15	17	38	200
パラチフス菌	18	16	14	17	12	12	15	14	12	15	17	38	200
サルモネラ菌	18	16	14	17	12	12	15	14	12	15	17	38	200
コレラ菌	18	16	14	17	12	12	15	14	12	15	17	38	200
腸炎ビブリオ	18	16	14	17	12	12	15	14	12	15	17	38	200
腸管出血性大腸菌	18	16	14	18 1	12	12	15	14 15	12 3	15	17	38	201 19
下痢原性大腸菌*1	18	16	14	17	12	12	15	14 3	12	15	17	38	200
カンピロバクター	18	16	14	17	12	12	15	14	12	15	17	38	200
ウェルシュ菌									17				17
溶血性連鎖球菌	2	0	1	1	0	0	1	2	4	2	2	1	16

*1 腸管出血性大腸菌を除く

上段：委託
下段：行政